
御国屋レイトの想像

碧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

御国屋レイトの想像

【著者名】

Z9083R

【あらすじ】

長編の紹介文?のような短編です。歪んだ少女と壊れかけた少年の独白。いつになるかわかりませんが長編を連載したら下げます。

碧

「僕はね、人の感情と「うものがよくわからないのだよ。だから、想像するんだ。想像して相手の反応をみて、僕は感情と「うものに思考をめぐらす。僕にはあやふやにしか「えられなかつたものに思いを馳せるのさ。感情とは何か、ってね」

出会つたばかりの頃、御国屋レイトはあの彼女独特の少しだけ傲慢さを滲ませたそのくせ無邪気に聞こえる喋り方でそんなことを俺に言つた。

レイトと出会つた頃の俺は酷く、絶望し、世界を怨み、他人を拒絶し、自分を蔑み、ただ死を渴望している無力で惨めな壞れかけのガキだった。

そしてレイトは歪んでた。狂つてもない、壞れてもない。ただ、その心は普通の精神の持ち主なら理解できない程度には歪み、いびつだった。

他者から壞されかけた俺と他者に影響されずとも歪んでいたレイト。

出会いに意味があるのかないのか、いまだに答えはでいない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9083r/>

御国屋レイトの想像

2011年3月27日16時49分発行